

平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書

沖縄県は、本土復帰50年の節目に「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を令和4年5月7日に策定しました。

50年前、当時の県民は「基地のない平和の島」としての復帰を強く望み、琉球政府において、将来の平和で豊かな沖縄県づくりのための具体的な措置を政府に求めた「復帰措置に関する建議書」が作成されました。

復帰から50年を迎えた現在において、沖縄は、空港などの社会資本整備が着実に進められ、観光・リゾート産業の成長など、様々な成果を上げてきましたが、沖縄の基地負担は、50年前、当時の県民が期待した「本土並み」には依然としてほど遠い状況にあり、自立型経済の構築もなお道半ばとなっております。

このため、復帰50年の節目において、県では、新たな建議書について検討するにあたり、県民意見募集や有識者との意見交換を行い、有識者からは基地の整理縮小や経済的自立・発展、県民からは50年先に望む姿として、「沖縄21世紀ビジョン」で描く将来像の実現を求める意見が寄せられました。

こうした県民の思いや復帰当時の先人達の願いを踏まえるとともに、いまだ残る課題への対応や県民が望む沖縄の将来像の実現に向けた未来への決意等とあわせて、新たな未来を展望する観点から米軍基地の整理縮小等の4項目を建議事項としてとりまとめた「新たな建議書」を策定し、県内外へ発信するとともに、5月10日には岸田総理大臣等に手交（提出）しました。

「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」

各章一覧

1. 復帰時における沖縄と「復帰措置に関する建議書」
2. 本土復帰後50年の振り返り
3. いまだ残る課題
4. 沖縄の未来に向かって
5. 平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議



記者発表
(5月7日=沖縄県庁)



岸田総理への手交
(5月10日=首相官邸)

沖縄 建議書

検索



全文はこちらから

問い合わせ

企画調整課 電話:098-866-2026 FAX:098-866-2351

広告